

■ OnAir 3000 ユーザーレポート

株式会社エフエム北海道 様

OnAir 3000



第3スタジオを OnAir 3000 で更新



株式会社エフエム北海道
経営管理局 技術業務部
山田 英行

第3スタジオ音声卓更新について

2012年8月、エフエム北海道では第3スタジオ音声卓を更新しました。このスタジオは生放送をメインとして使用しており、エフエム北海道においてとても重要なスタジオであり、機器選定には十分な検討を行いました。

OnAir 3000 の選定理由

生放送がメインということもあり、音声卓に求める条件としてはまず信頼性と安定性です。この点においては、国内外においての納入台数や他局での使用実績からも条件を満たしていると判断しました。また、生放送においてはディレクターがオペレートするため、シンプルで解りやすく誤操



作を誘発しないこと、省スペース化、既存設備との接続が容易に行えること、保守体制などがあげられます。これらについてもデモや導入局の意見、スチューダー担当者との長年のお付き合いや打合せによりOnAir 3000は条件を満たしており、弊社スタジオの運用や今後のマスター更新も考慮してもっとも適していると判断し導入を決定しました。

構成について

このスタジオはゲストが多く入ったり、多元生中継等も行うこともあるため、フェーダー数は24ch構成としました。オペレートはディレクターが行うので、操作を極力シンプルにするようにフェーダースクリーンやロータリーモジュールはあえて設置しませんでした。

また今回は、PCを使用した監視メーター/時計/タイマーを一体化したディスプレイをカスタマイズで開発していただき、デスクのメーターブリッジに収納しました。多機能なマルチメーターユニットが見やすくマウントされています。

運用開始

運用開始から1ヶ月半ほど経過しましたがトラブルもなく順調に稼働しています。制作担当者も簡単な説明ですぐに生放送対応ができており、また

多機能マルチメーターユニットも解りやすい等、全体の操作性・視認性についても大変好評です。さらに音質についても、卓のみの更新でしたが、誰もが（ディレクター、アナウンサー、リスナーからも）すぐに解るくらい向上しました。

最後になりましたが、OnAir 3000の導入について、限られた予算、短い工期にもかかわらずトラブルも無く尽力いただきましたスチューダー・ジャパン・ブロードキャスト様、キューベルズシンク様、アビックラボ様、クリエイティブネクストデザイン様など関係各社様に厚くお礼申し上げます。

